

放課後等デイサービス自己評価表（事業者向け・保護者向け） 実施報告書

令和4年3月17日

社会福祉法人つみき
つみき第8
管理者 小池敏之

放課後等デイサービスガイドラインに基づき、下記のとおり自己評価・保護者からの評価を実施しましたのでご報告いたします。

記

1、実施概要

自己評価表：常勤職員4名・非常勤職員6名を対象に実施。

実施日：令和4年2月22日

保護者向け評価表：利用者保護者30名を対象に実施（有効回答19件）

実施期間：令和4年1月20日～令和4年2月3日

2、評価方法

自己評価表・保護者向け評価表の結果を参考に、意見の多かった点について職員間で討議。

3、公表方法

ホームページにて公表。広報誌『つみき新聞』にてその旨を告知。

4. 主な工夫している点

【設問 4】業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか

◎毎月の会議や日々の終礼等を中心に、広く職員の意見を取り入れられるよう努め、必要に応じて個別支援目標の共通理解・共通認識をはかる機会となるようにしている。

【設問 20】障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか

◎今年度はサービス担当者会議自体がなかったものの、相談支援のモニタリングには最もふさわしい者が対応するようにしている。

【設問 22】医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか

◎主治医と直接に連絡を取ることはないものの、『主治医指示書』でやり取りをしている。連絡体制を整えておくことを必須事項・絶対条件とすると、コロナ禍の今は特に施設・家庭・医師のいずれにとっても負担となってしまうため、推奨事項・十分条件という姿勢で取り組んでいる。

【設問 26】放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか

◎児童館は未就学児対象である場合が多く、またコロナの影響で利用できなくなってしまう中でも、公園あそび等で一般の子と遊具をゆずりあって使ったり、場合によっては一緒に遊ぶケースもある。ただし保護者のニーズ自体は非常に低く、一般の児童との交流を望んでいない保護者が多い。

5. 主な改善すべき点（改善目標）

【設問 7】 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか

◎第三者評価を行うよう法人に提言し、第三者の視点による業務改善につなげる。

【設問 36】 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか

◎（保護者向けより「時々もう少し詳しく当日の様子等が聞けたらと思う時がある」という意見を踏まえて）日々の申し送りを保護者に行う際、「質問はありますか?」「最近ご自宅ではどうですか?」等のひと言を付け加えることで、保護者が話しやすいよう配慮する。電話・メールでの問合せ・質問は気軽にできるということを、年度始めの月の予定表等に記載しておく。

【設問 38】 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか

◎保護者には施設のしおりで緊急時対応や非難場所等を周知している。職員間の手マニュアル周知をすすめると同時に、防犯マニュアルについては改訂を法人に提言する。また、マニュアル周知に付随して外部研修の有効活用について検討する余地あり。

【設問 39】 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか

◎各曜日について、年1回以上は訓練を実施する。下校時等に避難場所の確認を行う。また、折り畳み式のヘルメット等、施設環境に配慮した防災用具を購入し、充実させる。72時間分の災害備蓄品を用意する。

以上